

平成23年度 第3回CCC国際関係学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 :平成23年9月20日(火) 15:00~17:00

II. 場所 :私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者:林委員 多賀委員

(事務局) 井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

(1) 学士力実現に求められる教育改善モデルのとりまとめについて

中間まとめに対するサイバーFD 研究委員からの意見を検討し、反映、改定を行った。

国際関係学教育における教育改善モデル（中間まとめ案1）について

- ① 「国際関係学教育として何をするのかを具体的に示すべき」については、一般的な指導要領でなく、授業のデザインとして提案をしているので、特に修正や加筆は行わないこととした。
- ② 「1. 到達度として学生が身につける能力 ①に「価値」とあるが、ここでは「価値」そのものではなく、むしろその「意味」について説明できることのほうが重要ではないか。」については、「価値」「意味」ではなく、「意義」とし、①「国際平和を連携・協調して実現する意義を説明できる。」に修正した。
- ③ 「2.4 ICT 用いた学習内容 ④の「歴史」の指す内容が明確と言えない。」については、「シミュレーションの結果を書かせ、それをもとに議論を行い、政策提言レポートを提出させる。」に修正した。

上記意見以外にも見直し、編集を行った。

- ① 「2.5ICT を用いた学習方法①」を削除した。
- ② 「2.5ICT を用いた学習方法⑦」を⑥にし、「⑥ 学習到達度の評価は、グループ学習の中で政策提言にどう関与したかを学習ポートフォリオにより記述させ、学習者間による相互評価を行う。さらに、政策提言を世界に向けて発信し、その批判、合意を評価に加える。」に編集した。
- ③ 「2.5ICTを用いた学習方法⑤」を④にし、「④ こうして身に付けた知識をもとにICT環境を利用して、国際社会をテーマにしたシミュレーションに参加し、必要とされる知識を活用する中で振り返りを行わせる。また、必要に応じて現地のスタディツアーを実施する。」に編集した。

国際関係学教育における教育改善モデル（中間まとめ案2）について

- ① 「2.5 ICT を用いた学習内容で生の情報をネットから収集することが求められている

が、リアルタイムで変化する情報については、その真偽を見極める力が特に強く求められる。初年次の学習者を想定している以上、ここでネットでのリアルタイムな情報収集を求めることは、メディアリテラシー的観点から無理があるように思われる。」については、初年次だけでなく、4年間を通して身に付けるので、特に修正や加筆は行わないこととした。

- ② 「2.5ICT を用いた学習内容 リアルタイムな情報をネットに求める危険性を考慮して、「ネット上で不明な点とのマッチング」を学習方法として提示することには、慎重であるべき。」については、「上記の学習内容を展開する一つの方法として、国際社会の特質を理解した上で多面的に情報を集めるために複数の機関・集団・市民からの情報が得られるようなネットワークを学びの課程の中で構築する。このことを通じて学生に国際社会の問題を自らの課題として受け止めさせるようにする。その上でグループで議論した内容を学内の Web サイト上に掲載し、国際関係学だけではなく他の分野の学生も対象に学びの成果について意見や討論を行わせる。」に修正した。

次回は、授業モデルの評価、教員の指導力について検討することとした。

V. 次回の開催日程

日時 11月14日（月）15：00～17：00

場所 私立大学情報教育協会 事務局 会議室